

江商議発第102号
令和3年11月19日

江南市議会議長
堀 元 様

江南商工会議所
会頭 松永 金次郎

江南市議会議員の定数削減を求める要望について

晩秋の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、当会議所の事業活動に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当会議所は地域総合経済団体として、江南市の活力と賑わいの創出を目指し、中小・小規模事業者の繁栄と地域経済の発展のために、商工業振興策を始めインフラ整備や魅力あるまちづくりなどの実現に向け国、県並びに市に対する政策提言や要望など、様々な事業活動を展開しております。

昨年も市議会へ議員政治倫理条例の制定を要望し、その後、条例化が図られたことは一定の成果を得ることができたと評価しているところであります。

しかしながら、最近、議員としての資質を問われるような行動が目立ち、市職員に対しての強要、恫喝、パワハラが蔓延し、怯えて職務遂行していると聞き及んでいます。せっかく議員政治倫理条例を制定しても、そうした事案が目の前で起こっています。議会として黙認せず役割を発揮していただきたいと、一言申し添えたいと思います。

ところで、全国市議会議長会が昨年12月末現在で取りまとめた市議会議員定数に関する調査結果によれば、全国815市の中で、62市が議員定数条例を改正し本年1月1日以降に順次適用されることになっております。

都道府県別や人口区分による議員定数を見ても、自治体の事情により様々な違いがありますが、とりわけ大阪府の市では、全国でも先進的な議会改革を推進されています。それは、人口が9万人から12万人未満の市の中で、面積は16㎢から109㎢と違いはあるものの、泉佐野市、河内長野市、富田林市、羽曳野市、松原市では議員定数が18人、大東市に至っては11万9千人の人口でありながら17人で円滑に議会活動を行っているのです。これ以外にも、守口市は14万3千人に対し22人、岸和田市は19万2千人に対し24人

となっています。

また、愛知県下を見てみますと、人口が9万人から12万人未満の市では、日進市が20人、大府市が19人、東海市及び半田市が22人です。

それに対して、江南市議会の議員定数であります。当会議所が平成22年7月に24人の定数を3人削減する要望をし、その後、市議会で減員数を2人とした22人の定数で条例改正されました。翌年4月の一般選挙から現在に至っておりますが、一度も見直されぬまま今現在の議員実数は1人欠員の21人となっています。

そうした中で、本年10月末の江南市の人口は9万9,780人と、この3月末以降10万人を下回っております。減少スピードが加速的な高まりを見せ、9万5,100人と掲げた令和9年度の目標人口（江南市第6次総合計画）に迫るのも時間の問題となっています。

コンパクトなまちづくりを目指すうえで、人口減少が迫る江南市の将来を考えれば、現行の定数のままでよいはずはなく、今回の要望に至った次第であります。

今まで定数削減をする際の議論では、地方自治法で人口区分による議員定数の上限規定があることから、定数を削減すれば市民の声が反映できないなどといった意見が必ずあったわけですが、平成23年に議会の自由度の拡大を図る観点から、人口区分による議員定数の上限規定が撤廃されました。これにより、議会の判断に基づいて自由に定数を定められることになったことはご承知のことと存じます。

現状を鑑みて、現行の定数を削減することは、逼迫した市の財政改善に寄与します。令和3年度の議会費予算では、1議員の年間報酬額は758万円であり、仮に4人減員することによって3,032万円もの経費削減が図れ、それに伴った政務活動費などの予算削減にもつながります。

さらに、2021年度の普通交付税決定額における財政力指数（2019～2021 3カ年平均）は、名古屋市を除く県下の状況では、37市中、江南市は0.79682で33位。一方、議員報酬は、37市中、江南市は月額45万円で18位に位置することから、財政力が良くても報酬は低い市があることも伺えます。

いま、江南市は長引く新型コロナウイルスの影響を受けて未曾有の危機に瀕しており、地域経済の衰退はリーマンショックをはるかに凌駕する水準に達しています。このような時、市民の税金から報酬を受ける市議会も、経費削減に向けて一層の努力をし、市民生活を下支えする財源の捻出に協力するのは当然のことではないでしょうか。さらに、定住人口を増やす大きな施策がな

い江南市は、今後も人口減少は避けられず、本市財政にさらなる影響を与えることは間違いありません。

いずれにいたしましても、定数削減については先延ばしできない議論であり、10年も手付かずだった聖域に切り込み、近隣都市や類似都市と比較するのではなく市の将来展望を見据え、苦境に立つ市民が納得する改革を市議会自ら率先して実行していくことが今求められています。

つきましては、市議会基本条例にもあるように市民の負託に応え、より良い市政の実現に向け、下記の内容について早急の対応を要望します。

記

要望事項

1. 江南市議会議員の定数を22人から18人に減少すること。
2. 議員定数18人の実施時期は、令和5年4月の一般選挙から適用すること。